

生まれる前から、大人になるまで

— おなかの赤ちゃんが口唇口蓋裂と診断されたご家族へ —



このたび、おなかの赤ちゃんに唇顎口蓋裂の可能性があることをお知らせになり、これからのことに大きな不安を感じていらっしゃると思います。そのお気持ちは、これまで多くのご家族が抱えてこられたものと同じです。私たちが最初にお伝えしたいのは、口唇口蓋裂は時間をかけて一つずつ、確実に治していける病気だということです。

■ どなたのせいでもありません

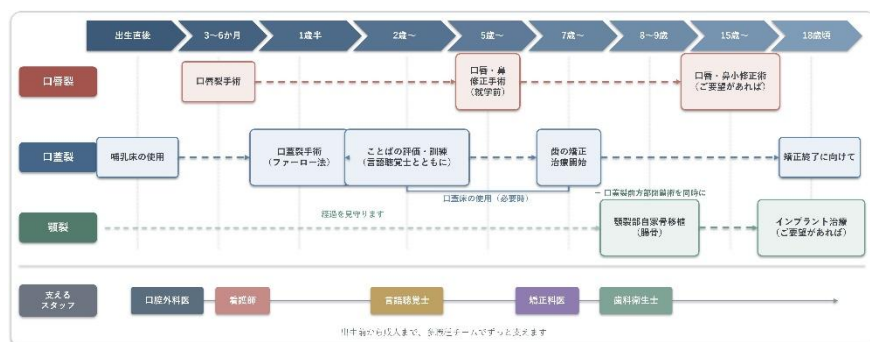
口唇口蓋裂は、わが国ではおよそ 500 人に 1 人の割合で産まれる病期で、決してめずらしいことはありません。多くの場合、はっきりとした原因はわかっておらず、妊娠中の過ごし方によって起こるものでもありません。どうか安心して、お子さんを迎える準備を進めていただければと思います。

■ 生まれる前から、ご相談いただけます

当院では、出産を迎える前に、治療の流れや見通しを詳しくご説明する「出生前カウンセリング」を行っています（下記の連絡先で予約ができます）。生まれた後に何が起こるのかをあらかじめ知っておくことで、安心して出産の日を迎えていただけます。

■ 生まれた後は、チームでずっと支えます

お子さんが生まれたら、まず授乳（哺乳）のお手伝いから始めます。専用の「哺乳床（ほにゅうしょう）」を使い、しっかり栄養をとれるように支えます。その後は成長に合わせて、口唇・口蓋の手術や歯並びの治療などを、適切な時期に一つずつ進めていきます。この長い歩みを、口腔外科医・看護師・歯科衛生士・言語聴覚士がチームとなって、お子さんとご家族とともに支えます。心理の専門職や医療ソーシャルワーカーによるサポートが必要な場合には、他施設と連携してご紹介いたします。長い道のりですが、一人で抱え込む必要はありません。



■ ご家族のためのオンライン説明会を行っています。

治療の見通しや同じ立場の方の成長された様子などをご紹介するオンライン説明会を行っています。また同じ立場の患者さんの会（口唇口蓋裂を考える会：たんぽぽ会）のご紹介もできます。プライバシーに配慮したオンライン

（Zoom などで行います）でのご参加も承っております。どうぞお気軽にご参加ください。

【ご相談・お問い合わせ】愛知学院大学歯学部附属病院 口腔外科第二診療部（口唇口蓋裂治療担当：宮部 悟）／TEL 052-759-2111（病院代表）・052-759-2160（医局直通）／産科・小児科の先生を通じてのご紹介も承ります。